厚生労働省栃木労働局

Press Release

平成29年8月2日
【照会先】
栃木労働局職業安定部職業安定課
課　長　　砂川　洋一
労働市場情報官　苫米地　幸子
（電話）０２８－６１０－３５５５
（FAX）０２８－６３７－８６０９

報道関係者　各位

平成２８年度におけるハローワークの職業紹介業務に関する総合評価の結果が出ました

厚生労働省では、ハローワークのマッチング機能（職業紹介機能）の強化を図るため、平成27年度より「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」を実施しております。

今般、栃木県内各ハローワークの平成28年度実績と評価結果が確定いたしました。

※　総合評価は全国のハローワークで共通する就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者早期再就職件数等を必須項目とし、これに加えて地域の特性等を踏まえハローワークごとに選択した重点的に取り組む業務などを目標に掲げ、達成状況を評価・改善するものです。

＜栃木労働局総括＞

１所が「非常に良好な成果」、５所が「良好な成果」、５所が「標準的な成果」となりました。

また、各ハローワークの取組実績及び評価結果をまとめました。

⇒　別添1　「平成28年度における評価結果総括」

⇒　別添2　「就職支援業務報告」

＜評価結果を受けた今後の取組について＞

栃木労働局及び各ハローワークでは、平成28年度実績を踏まえ、平成29年度の目標達成に向け、引き続き就職支援に取り組み、中長期的なハローワーク業務の質の向上や継続的な業務改善を図るとともに、成果や評価結果、業務改善の状況等について利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼の向上に努めます。

⇒　別添3　「平成29年度ハローワークのマッチング機能に関する評価目標」

※参考資料①「ハローワークマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）
参考資料②「総合評価の構成」

平成２８年度における総合評価結果総括

全ハローワークについて、各評価（類型）ごとの数は下表のとおり。

（全国のハローワーク428所を対象
熊本労働局管内各ハローワーク（9所）は災害等の影響により対象外）

○　各グループごとに平均値を基準とし、平均値以上を類型１・２、平均値未満を類型３・４に区分
○　目標達成率100%を満点とみなし、満点以上を類型１
○　グループ平均値の80%未満のポイントとなったものを類型４

	評語	ハローワーク数	
		栃木	全国
類型1	非常に良好な成果	1 (0)	3 (16)
類型2	良好な成果	5 (8)	208 (198)
類型3	標準的な成果	5 (3)	217 (207)
類型4	成果向上のため計画的な取組が必要	0 (0)	0 (6)
		11 (11)	428 (427)

※（）内の数字は平成27年度のもの。

別添２

ハローワーク宇都宮　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要三項目のうち、前年度達成率が一番低かった「充足数」の目標達成を最重要と考え、特に正社員求人の充足に重点を置いて進めることとし、求人者支援員と職業相談窓口担当者がチームを作り、事業所訪問等により正確な求人ニーズを把握し、該当する求職者を紹介する「ジャストマッチング」の取組を実施した。平成２８年８月からの訪問事業所数は１３８社、取組を行った求人件数２１２件のうち４６．２％にあたる９８件が充足。求人数では、３１１件のうち３９．９％の１２４件が充足に結びついた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

人材不足分野である介護関係の事業所を対象とした面接会の開催にあたり、介護の訓練施設と連携して同施設内の会場で開催できたことで訓練生が参加し易くなり、昨年度の１．９倍にあたる５７人が参加、うち２１人（昨年度の１．９倍）が１０事業所（３０事業所が参加）の雇用に結びついたことから、来年度も継続して実施する。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

人材確保を強く希望する事業所に対し、求人条件緩和の提案等を積極的に行うとともに、面接会付職場見学会等によるマッチングを提案し、企業のプレゼン、職場見学、労働条件等の確認の場を、求人者・求職者に同時に提供することにより的確なマッチングを図り、求人者サービスを強化していく。

（４）その他業務運営についての分析等

所管内の正社員求人については、平成２８年２月時点で、求人数が求人総数の４５．１％に止まり、正社員有効求人倍率も０．９２倍と低調であったことから、管内の自治体や商工会議所等と連携し、４者連名による勧奨文を発出し正社員求人の開拓に取り組んだ。来年度以降も引き続き正社員求人の開拓に取り組んでいく。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数	マザーズハローワーク担当者性支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	介護・看護・保育分野の就職件数
実績	9,126	9,472	2,102	96.9%	100.0%	20.2%	26.2%	22.6%	453	500	1,850	93.5%	29,027	4,701	1,103
目標	9,422	9,968	2,108	90.0%	90.0%	18.0%	29.7%	23.6%	384	488	2,224	88.5%	26,770	4,880	1,300
目標達成率	97%	95%	100%			112%	88%	96%	118%	102%	83%	106%	108%	96%	85%
（参考）過去３年度平均	10,083	10,661	2,170												

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク鹿沼　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「雇用保険受給者早期再就職件数」の取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、就職支援ナビゲーターや学卒ジョブサポーターを活用した初回認定日セミナー（早期再就職のメリット及び長期失業のデメリットを説明したり、希望条件に見合った求人票を提供し、すぐに応募できる環境を整えて求職活動の活性化を促進するものとして、週に 3 回実施。）やクイックセミナー（応募書類編、面接対策編及び職業訓練編の 3 種類を月に 2～3 回実施。）等の取り組みを行った結果、28 年度の目標数 375 件に対し実績 435 件（116.0%）で達成することが出来た。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者の方々に対するサービス改善・業務改善を図るため、①求職者の相談窓口への誘導強化のためのカードの配置、②職場内研修（2 回実施）や業務改善のためのグループ討議（11 回実施）を実施し、成果物として「初回認定日セミナーマニュアル」「新ハローワークガイド」を作成し、初回認定日セミナー等で活用、③雇用保険受給者全員に対し、初回の認定日に初回認定日セミナーを実施（その結果、雇用保険受給者早期再就職件数の目標に対する進捗率は、局内でもトップクラスとなった。）、④大学生等に対する事業所説明会の時期が変更となったこと、管内事業所の人手不足解消、市としての市への人口流入促進を図りたいとの意向等により、所独自の取り組みとして学生向けの求人企業説明会となる「来て・見て・聞いて！　求人企業説明会」を 3 月に開催、等の事項を行った。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

若年者雇用対策の一環として、市や商工会議所と連携して行っている「求人企業合同面接会 in かぬま」について、平成 28 年度までは秋（10 月や 11 月）に実施していたが、学生等の動向を考え、平成 29 年度については 6 月に開催し、求職者の参加の増加を図っていくとともに、新規求職者の減少に加え、求職者の高年齢化傾向でもあるため、一般はもとより高年齢者でも応募可能な良質求人の確保に努め就職件数の増加に取組む。

（4）その他業務運営についての分析等

若年者雇用対策について、平成 28 年度までは、市や商工会議所と連携し、事業所見学を組み込んだ合同面接会の開催、所単独で実施していた職場定着支援や中学校キャリア教育職業講話等工夫しながら取り組んできたが、平成 29 年 2 月 1 日付けで市と雇用対策協定を締結したことから、更なる取組の充実を図っていきたい。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数
実績	1,627	1,500	435	93.8%	100.0%	25.9%	24.2%	22.4%	112	201	413
目標	1,776	1,666	375	90.0%	90.0%	21.7%	29.2%	25.9%	84	140	336
目標達成率	92%	90%	116%			119%	83%	86%	133%	144%	123%
（参考）過去3年度平均	1,839	1,741	412								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※ 太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク栃木　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

・当所では、所重点項目においては、ア）「介護・看護・保育対策関係就職件数」の取組みにおいて、当所初の「介護就職ウィーク事業所説明会＆ミニ面接会」（計４日間）を開催したことから、就職件数に反映することができ、目標件数に近づけることができた。　イ）「生活保護受給者等の就職件数」の取組みについては、地方自治体など関係機関との連携体制の調整、巡回相談の実施、就職後のフォローアップを重点的に進めたことから、上期には目標を達成し、年度末において、１５０％を超えることが出来た。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

・雇用保険受給資格者の早期再就職支援のため、所独自に「ステップアップセミナー」を計画し、失業認定日ごとに１課２部門の職員等が連携して受講の誘導を推進し、早期就職のための啓発・積極的な支援を実施したことにより年間目標を達成した。同時に、講師として職員・就職支援ナビゲーターが担当することにより人材育成に大きく貢献した。

・求職者・求人者等利用者が少しでも快適に利用できるよう所内の環境整備（カウンター・机上・キャビネット等の上に不要なものを置かない。常に整理整頓を呼びかけ、できるまで声掛けを行い、掲示物の選別と利用者に心地よく見てもらえるための工夫を施した。）を図った。これにより、利用者から好印象のご意見を聞くだけでなく、職員等も仕事がしやすい環境になったことに気付くとともに、継続的な環境整備の意識改革ができてきた。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・就職件数、充足件数の向上のため、来所勧奨型紹介や提案型紹介等による積極的なアプローチを心がけ、早期のマッチングを実施する。

・更に、求職者の多くを占める高年齢者の就職を実現するために、採用意向の把握に努め求人開拓や採用実績のある事業所情報のデータベースを構築し、より効果的な職業紹介件数・就職件数の増加に努め、労働市場の要望に応える。

（４）その他業務運営についての分析等

・新規学卒者の採用意識が高まり、いかに管内企業に就職し、人口減少率の低下に寄与するかが課題である。応募してもらえるための求人票作成の助言や、求職者が知りたい情報を聴取し確実に届く情報提供の仕方、事業所説明会・面接会を工夫して開催する。そのためにも、管内の自治体や商工会議所等と連携し、協働の取組みを実施していく。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	正社員求人数	介護・看護・保育分野の就職件数
実績	1,949	2,160	750	96.2%	99.0%	23.9%	26.1%	18.6%	135	134	5,758	226
目標	2,074	2,273	700	90.0%	90.0%	22.9%	29.9%	20.4%	84	131	4,780	250
目標達成率	94%	95%	107%			104%	87%	91%	161%	102%	120%	90%
（参考）過去3年度平均	2,202	2,359	766									

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク佐野　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、平成２８年度について新規求人数、充足件数が低調であったため、求人充足に向けた支援としてのミニ面接会を４０回開催し、６１人が採用、充足数の増加に結びつけることが出来た。また、来所者に対しては、求人検索システムの利用だけで帰らないよう受付での窓口利用の声掛けや名刺大の「ハローワーク支援サービス」カードの配布、雇用保険受給者においては全員相談の実施に取り組んだ。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、窓口での相談時にあまり大きな声で話されると周りの方に聞かれてしまい恥ずかしいとの声があったため、プライバシーに関する内容については声のトーンを一段下げるよう窓口職員全員で申し合わせた。また、就職支援サービスについて、全く知らなかったとの意見もあり、「ハローワーク支援サービス」カードの配布はもちろん、庁舎入口掲示板等の目につきやすい場所にも置くようにした。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人事業主から急募などの場合の早期紹介や応募者が出ない場合の次に講ずる手段を指導してほしいとの意見があるので、求人受理後の早い時期での求人条件緩和指導等のマッチングに努め、求職者からの意見も速やかに伝達できるよう求人者サービスに取り組みたい。

（４）その他業務運営についての分析等

平成２９年度には佐野田沼インター産業団地の一角に物流の拠点として、内陸の港「佐野インランドポート」が供用開始予定となっている。また、佐野インター産業団地の２期目となる１０区画の企業誘致もほぼ決定となり、雇用の拡大に繋がる事から、平成２９年度に市役所との連携による面接会を１１月１０日（金）に予定しており、その開催に向けた第１回会議は平成２９年６月２２日に、第２回会議は７月１２日に実施し、今後も市役所との連携を深め、面接会の準備、開催に向けた取り組みを行う。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数	公的職業訓練の修了３ヶ月後の就職件数
実績	1,862	1,555	535	94.0%	95.0%	25.7%	26.5%	21.6%	118	376	65
目標	1,975	1,744	520	90.0%	90.0%	22.3%	28.8%	23.4%	84	340	55
目標達成率	94%	89%	103%			115%	92%	92%	140%	111%	118%
（参考）過去3年度平均	2033	1789	511								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク足利　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標の目標達成を最優先課題ととらえ取り組んだ。特に、所重点指標である「正社員求人数」の確保と「正社員就職件数」の達成を重点的に進めることとした。市役所、商工会議所、工業団地組合及び企業を訪問し、正社員雇用と労務管理による安定的雇用の促進、キャリアアップ助成金等の周知・活用促進に努めた。更に、９月に市役所、商工会議所、雇用協会の共催による「正社員求人を対象とした就職面接会」を実施するなどにより、目標達成することができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、目標を達成しているものの前年度に比して低下していることから、職員等全員が情報を共有し「満足度アップのための意識改革と利用者サービス提供促進」を心がけ、実行するよう業務改善を行った。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

所管内の人手不足の分野である介護分野の事業所説明・面接会を１１月に３回開催、保育職分野についても同様に２月に開催することができた。これらの分野で働くための現場の魅力や就業条件等をより多くの求職者に理解してもらための手法を取り入れながら、継続開催するなど的確なマッチングを図っていく。

（４）その他業務運営についての分析等

本年度は２件の事業縮小に伴う雇用調整が相次いだ。離職前のＨＷ求職登録勧奨、ＨＷを利用した求職活動の仕方、管内・隣接地域を含めた労働市場の状況と雇用保険受給者の早期再就職のメリット等の説明会を実施した。隣接のＨＷにも求人情報提供を依頼するなど就職機会の増大に向けた取組みを行った結果、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を達成することができた。今後も隣接ＨＷとの連携を図りながら、早期再就職の実現に取組んでいく。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	2,274	2,247	635	94.9%	94.0%	29.0%	26.3%	21.3%	152	429	5,186	1,091
目標	2,179	2,258	594	90.0%	90.0%	24.2%	28.1%	23.1%	150	350	4,780	1,000
目標達成率	104%	100%	107%			120%	94%	92%	101%	123%	108%	109%
（参考）過去3年度平均	2329	2386	618									

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク真岡　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「求人に対する担当者制の実施」の取組の目標達成、マッチングを最重要と考え、特に重点的に進めることとし、来所勧奨型紹介やミニ面接会の開催などを積極的に取り組んだ。特に、特にミニ面接会は、施設見学会とセットにしたものも含め、34 回開催し、41 件の採用に結びつけることができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者数の減少に伴い求職者担当制を強化し、相談内容を充実させ職業相談の質の向上を図っている。また、求人事業の内容を詳細するため、職員による事業所訪問、画像情報の積極的な収集に努めている。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人者視点からのマッチングにも積極的に取り組むため、求人の詳細情報の収集、ミニ面接会を積極的に開催していく。

（４）その他業務運営についての分析等

当所管内の正社員求人が不足していることから、管内の自治体や商工会議所等と連携し、正社員求人の依頼に取り組んだ。また、地方自治体との共催による面接会を積極的に開催した他、地方版総合戦略会議等に積極的に参加し、ハローワークの PR を行うことができた。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数	正社員求人数
実績	2,095	1,884	496	95.5%	98.4%	28.5%	27.2%	19.2%	122	484	4,181
目標	2,103	1,923	580	90.0%	90.0%	24.7%	31.1%	21.9%	84	300	3,838
目標達成率	100%	98%	86%			115%	87%	88%	145%	161%	109%
（参考）過去3年度平均	2,164	1,966	600								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク矢板　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、定期的にミニ面接会を開催するなど積極的に取り組んだ。年４０回開催し、参加事業所４０社、参加求職者が１４８人、そのうち３０人が採用となった。特に、管内求人の約２割を占める人手不足の分野である介護職に特化した面接会では、介護関係の職業訓練受講修了者を中心に１１人を採用に結びつけることができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、待合スペースの椅子等の経年劣化や相談スペースの個人情報保護に関する要望があったため、待合スペースの椅子と相談窓口の椅子を交換するとともに相談カウンター横２箇所にパーティションを新たに設置し、利用者スペースの環境を改善した。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

管内の正社員の求人倍率が低い水準にあるため、所独自に６～８月を正社員実現キャンペーン期間に設定し、正社員希望求職者へのアンケート結果を取りまとめて、事業所訪問や窓口で求職者の生の声を事業主に伝えて、良質の正社員求人を確保するとともに、正社員に特化したミニ面接会を開催する。

（４）その他業務運営についての分析等

管内の自治体から協力要請があり、矢板市と連携して「保護者向け企業研究セミナー」と「やいたＵターン意見交換会」を開催した。また、さくら市からは新設された「さくら市企業振興協議会」への協力要請があり、来年度以降も両市と連携し、ＵＩＪターン等人材確保の事業に取り組んでいく。

2　総合評価（※）

非常に良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	正社員求人数
実績	1,441	1,296	353	96.8%	98.0%	25.5%	30.3%	23.9%	70	48	2,671
目標	1,425	1,205	352	90.0%	90.0%	22.5%	34.1%	22.6%	42	44	1,880
目標達成率	101%	108%	100%			113%	89%	106%	167%	109%	142%
（参考）過去3年度平均	1415	1224	363								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク大田原　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、マザーズHW担当者制支援を受けた重点支援対象者の就職率の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、雇用対策協定に基づく自治体との密接な連携支援を確保し、自治体への出張相談を効果的に実施し、目標を上回る就職率９１．２パーセントを達成することができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

所内全体会議において、「求職者への各種支援のためのパンフレットやお知らせの所内掲示が利用者に対して分かりづらいのではないか」との提案があったため、支援別にまとめた掲示方法に変更する業務改善を行った。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

恒常的なミニ面接会の開催は、求人者サービス向上・雇用管理改善・正社員求人確保等に効果があるで様々な業種の面接会を開催しているが、所管内の人手不足の分野である建設分野の面接会は、平成２８年度は開催に至らなかったので、２９年度は年間３回を目標に開催して、多数の参加者を募っていく。

（４）その他業務運営についての分析等

生活保護受給者等の就職について、管内の自治体幹部を集めた会議を開催し、職業相談時に生活支援と就職支援それぞれの担当者が連携して、就職件数の目標を達成した。今後は、児童扶養手当受給者の就職促進を図っていく。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数	マザーズハローワーク担当者性支援を受けた重点支援対象者の就職率
実績	2,408	2,110	539	95.5%	99.0%	28.5%	28.3%	22.0%	80	119	336	91.2%
目標	2,401	2,143	590	90.0%	90.0%	25.0%	30.4%	23.4%	42	92	403	88.5%
目標達成率	100%	98%	91%			114%	93%	94%	190%	129%	83%	103%
（参考）過去3年度平均	2,484	2,222	696									

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク小山　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、業務運営計画において「職業紹介業務の充実強化による効果的なマッチングの推進」の取組を最重要と考え特に重点的に進めることとし、当所のキャリアコンサルタント資格取得職員が講師となり、近隣所職員・相談員も呼び込んで「職業相談技法スキルアップ研修」を行った（４日間参加者延２７人）。また、ミニ面接会や就職支援セミナーを積極的に開催することが出来た。これらの取組から、平成２８年度における求職者担当制の就職率やミニ面接会における就職件数など、一定の成果をあげることが出来た。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、雇用保険に関わる利用者の氏名による呼出しについて、プライバシーへの配慮を求める意見があったため、雇用保険窓口や雇用保険受給者説明会等でも番号による呼出し方法にするなどの業務改善を行った。（併せて、本人確認等個人情報漏えい防止対策を確実に実施。）

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足サービスについて、充足数の減少に伴い充足率が低下していることから、求職者に対する就職支援の取組に加え、求人者に対する充足支援として、積極的に事業所訪問を実施し、求人票以上の情報提供等のさらなる強化に取組む。

（４）その他業務運営についての分析等

大卒等就職面接会や障害者面接会など、管内自治体と企画運営することで周知広報の効果もみられることから、さらに効果的な業務運営を図るための連携を検討していく。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターにの支援による正社員就職件数	正社員求人数
実績	3,760	3,225	1,059	93.2%	94.1%	19.7%	23.6%	22.1%	115	190	623	10,970
目標	4,030	3,392	1,022	90.0%	90.0%	17.7%	26.9%	24.4%	84	178	580	9,247
目標達成率	93%	95%	104%			111%	88%	91%	137%	107%	107%	119%
（参考）過去3年度平均	4,280	3,569	1,036									

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク日光　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、管内地方公共団体も力点を置いて推進している地方創生に関連した若年求職者の正社員就職促進を最重要課題と考え、「フリーター等正規雇用就職件数」に係る取組みを特に重点的に業務を進めることとしました。

当所に求職申込みをした非正規雇用にある求職者等に対して綿密な職業相談を実施するとともに、職員の事業所訪問や求人受付窓口での助言・指導により正社員求人の確保を図り、効果的なマッチングに努めた結果、当該重点項目については目標を達成いたしました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは「多少待ち時間が長い」との意見があったため、効果的・効率的な相談及びその記録スキルに係る業務研修を実施して、待ち時間の短縮化とともに紹介成功率向上を図る改善を行いました。

また、ハローワーク利用者の方から声をかけられた場合に、すぐに待合フロアに出られるようカウンターの配置を変更し、利用者サービスの向上を図りました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

当所管内の産業構造は、観光サービス産業のウエイトが特に高いことから、休日等の労働条件が一般的な求職者ニーズとマッチしない点があるものの、今後においても求人充足数の向上を図るために、ミニ面接会の積極的開催や管内事業所の求人情報を求職者に郵送や電話で提供するサービスを継続するとともに、求人者に対しては、魅力ある職場づくりによる生産性向上と人材確保を実現するための雇用管理改善に係る助言実施を推進して参ります。

（４）その他業務運営についての分析等

当所の管内地方公共団体においては、平成 28 年度の組織改編により、人口減少対策として移住促進施策を実施しているところですが、特に若年者の移住に関しては就職問題も大きなポイントになることから、産業構造上の課題解決も含め、日光市の地方創生関連事業に積極的に参画する等により更なる連携強化を図って参ります。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いたフリーター等の件数	正社員求人数
実績	1,633	1,374	330	95.7%	97.1%	31.6%	22.0%	23.1%	84	264	3,203
目標	1,698	1,463	316	90.0%	90.0%	25.7%	27.6%	25.7%	84	216	2,835
目標達成率	96%	94%	104%			123%	80%	90%	100%	122%	113%
（参考）過去3年度平均	1,744	1,546	333								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

ハローワーク黒磯　就職支援業務報告（平成２８年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、最重要に取組んだ事項として、主要指標の目標達成のために、ミニ面接会を重点的に取組み効果的なマッチングの推進を図りました。特に正社員を対象とした面接会や人手不足分野の介護・宿泊業を中心に毎月第２・４火曜日に合計３６回開催、１０２人の採用に結びつけることが出来ました。

また、雇用保険の早期再就職件数の目標達成のために、初回講習時の意欲喚起のための講習を実施、また、初回・２回目認定日アンケートを実施し緊要度の把握をし早期集中支援を実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

・早期再就職の実績を上げる為、認定日全員相談を実施しました。

・求人支援員と職業相談担当者の同行による事業所訪問を１１事業所で行い、求人票以外の事業所情報を収集し求職者に情報提供を図りました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・当所ではミニ面接会により確実に就職件数等の実績を上げていますが、求職者が減少傾向にあるなか同じ分野の面接会が続くことにより参加人数の減少が懸念されることから、広い分野の事業所の参加が必要となるため、求人担当と紹介担当が連携を強化し、計画的な開催を図ることとします。また、所重点項目にある正社員求人数・正社員就職の目標達成のため、正社員に特化した面接会にも取り組むこととします。

・積極的に安定所の利用者として取組む為、来所しない有効求職者等潜在的利用者に「HW利用勧奨文」を送付し来所勧奨を促すよう取組むこととします。

・早期再就職のメリットを周知するため、雇用保険受給者に個々の再就職手当支給額を提示し早期再就職につなげるよう取組むこことします。

（４）その他業務運営についての分析等

福祉事務所等との連携や巡回相談の実施により、一定の成果はあがっているものの、福祉事務所や社会福祉協議会からの生保対象者等の送り出しが低調であるため、雇用対策協定に係る事業計画や生活保護受給者等就労自立事業協議会及び事務担当者レベルでの打合せを実施する等により就労支援体制を再確認し、生開コースの活用や生活保護に陥る前段階の者等を含む支援対象者の早期支援に取組むこととします。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者就職件数	公的職業訓練の修了３ヶ月後の就職件数	正社員求人数
実績	1,939	1,934	396	95.8%	99.0%	30.2%	25.3%	22.3%	106	71	3,468
目標	2,039	2,026	389	90.0%	90.0%	26.9%	27.6%	24.8%	87	45	3,190
目標達成率	95%	95%	102%			112%	92%	90%	122%	158%	109%
(参考)過去３年度平均	2,072	2,008	445								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※　網掛け部分は全ハローワーク必須指標

※　太枠内は主要指標（毎月進捗状況公表項目）

別添3

平成29年度　ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価目標値

【毎月公表項目】

就職件数（常用）	ハローワークの職業紹介により常用就職した件数
充足件数（常用）	ハローワークの常用求人の充足件数
雇用保険受給者の早期再就職件数	基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職する件数

※常用とは、雇用期間の定めのない仕事、または４ヶ月以上の雇用期間が定められている仕事をいう。

平成29年度　ハローワーク別主要指標の目標値

	主要指標		
事業名 / 安定所名	就職件数	充足数	雇用保険受給者の早期再就職件数
局　　計	29,000件	27,600件	7,552件
宇都宮所	8,813	8,945	2,142
鹿沼所	1,575	1,500	396
栃木所	1,910	2,104	746
佐野所	1,860	1,475	555
足利所	2,193	2,225	579
真岡所	2,045	1,850	465
矢板所	1,416	1,215	346
大田原所	2,283	2,032	599
小山所	3,600	3,110	991
日光所	1,493	1,287	337
黒磯所	1,812	1,857	396

○　ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による主要指標の他、下記表1の所重点指標について、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む項目があります。
○　平成29年度栃木局内のハローワークにおける所重点指標は下記の表2のとおりです。

表　1

項　　目
生活保護受給者等事理祖促事業の就職件数
ハローワークの職業紹介により障害者が就職した件数
学卒ジョブサポーターの支援した者のうち、正社員就職した件数
ハローワークの職業紹介により、正社員雇用に結びついたフリーター等の件数
公的職業訓練の修了３ヶ月後における雇用保険適用の就職件数
マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
ハローワークで管理する求人のうち、正社員求人として受理した件数
ハローワークで管理する求人のうち、正社員求人へ就職した件数
介護・看護・保育分野への分野に就職した件数
生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数

表2

	所重点指標選択数	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたフリーター等の件数	公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率(%)	正社員求人数	正社員就職件数	介護･看護･保育分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
栃木　局		984	1,610	4,281	5,972	1,351	89.4	78,932	14,354	3,500	62
宇都宮　所	7	312	500		2,135		89.4%以上	30,504	4,498		62
鹿沼　所	3	84						4,354	809		
栃木　所	4	84	134					5,758	976		
佐野　所	3				320			4,271	953		
足利　所	4			150	340			5,523	1,004		
真岡　所	3	84						4,250	916		
矢板　所	3	42						2,485	668		
大田原　所	4		119					3,761	1,034	273	
小山　所	4	84		570				11,001	2,002		
日光　所	3	42						3,317	692		
黒磯　所	3					58		3,708	802		

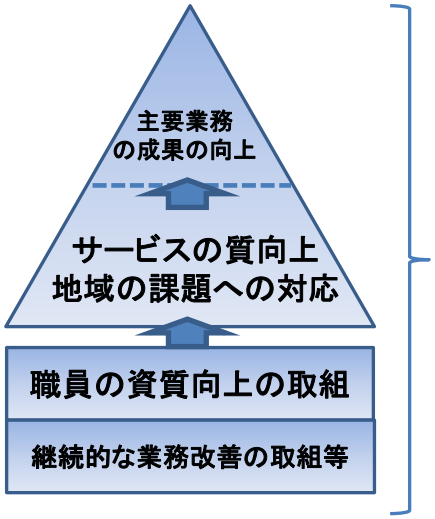
ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

参考資料①

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



ハローワークのマッチング機能の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表

  →主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度央に、総合評価を年度終了後に公表

- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。

  →労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価

- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。

重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。

①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導

②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）

③好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

参考資料②

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価（全所必須指標）

（1）主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- ○ 就職件数
- ○ 求人充足件数
- ○ 雇用保険受給者の早期再就職件数

（2）補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- ○ 満足度調査
- ○ 紹介成功率
- ○ 求人に対する紹介率
- ○ 求職者に対する紹介率

ハローワークごとの重点的な取組の評価（所重点指標・所重点項目）

（1）所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- ○ 障害者の就職件数
- ○ 正社員求人数
- ○ 生活保護受給者等の就職件数　など

（2）所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- ○ 職員による事業所訪問の実施
- ○ 求職者担当制の実施
- ○ 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- ○ 好事例を導入した業務改善を実施　など